

平成29年 5月10日

磐田市長 渡部 修 様

磐田市文化会館建設検討委員会

会長 浅羽 浩

(仮称) 磐田市文化会館の規模や機能及び配置等について

(最終答申)

磐田市文化会館建設検討委員会は、磐田市文化施設等のあり方に関する検討委員会の提言を受け、文化会館建設の理念などの基本構想から、規模や具体的な施設などまで審議することを目的として、平成27年7月に設置されました。

委員会では、本事業の円滑な推進及び今後の審議のため、新しい文化会館の基本理念及び建設位置について「第1次答申」として答申させていただきました。

今回、規模や機能及び配置等について「最終答申」として答申させていただきます。

今後、市において最終的な判断をされると思われませんが、その際、本委員会の意見を考慮した計画を期待します。



はじめに

新しい文化会館は、市主催の様々な催し物や市民の芸術文化活動の拠点となる施設であることから、市民が誇りを持てる施設とするとともに、機能を重視し、特色ある文化会館とすることが重要です。

また、親しみやすく、市民が自ずと集う場所となることが期待されます。規模・機能、配置等についての基本的な考え方は、以下のとおりです。

1. 規模・機能の検討

(1) ホールについて

客席について

新しい文化会館は、市内の拠点となる文化施設であり多様な企画に対応できるようにするため、大・中・小の各規模のホールが整備されることが理想ですが、中ホールを兼ねた使い方ができる大ホールを整備し、小ホールについては、当面はアミューズ豊田「ゆやホール」を有効活用していくことが現実的です。

大ホールの規模については、人口17万人の中東遠地区における中核的な都市として、舞台芸術の振興及び市民の文化活動の啓発・活性化を図るとともに、優れた芸術作品を多くの市民の方々に鑑賞していただくため、現在の市民文化会館と同等の1500席程度が望ましいと考えます。

また、客席の構造は二層式とし、中ホールとしての使用ができる工夫が必要です。

このほか、子育て支援等の観点から乳幼児と一緒に鑑賞することができる親子室を備えることが望ましい。

なお、座席は、どの位置からも舞台が見やすいレイアウトとし、前後の間隔を含め、現在の文化会館よりゆったりとしたサイズを望みます。

舞台について

市主催の催し物のほか、芸術作品についても様々な演目の上演が可能な多機能な舞台とし、多様な演出が可能となるよう、間口だけでなく奥行きもある舞台が望ましい。

また、音響については、それぞれの演目で高い水準の性能を発揮できるよう工夫されることが望ましい。

なお、オーケストラピットは、ミュージカル等の優れた芸術作品の公演に必要であるほか、様々な使い方が考えられるので、長期的視点に立ち導入の検討を望みます。

楽屋について

楽屋は、様々な規模の公演に対応できるように、必要な部屋数と設備を確保するとともに、その規模や動線に留意することが必要です。

その際、アミューズ豊田等の諸室の利用の可能性についても検討されたい。

(2) 創造系施設

リハーサル室は、実際の公演に近い演技が可能となるよう十分な広さを確保するとともに、小公演を含め多目的な利用が可能となるよう、音響や照明等の設備を整備することが望ましい。

また、スムーズな移動が可能な動線に留意されたい。

(3) 交流系施設

ロビーやホワイエは、来館者が交流する場所として快適な時間を過ごせる空間とすることが必要です。また、ホワイエとロビーをゾーン分けすることが必要です。二つを明確に区別する方法や簡単な仕切りで分ける方法があり、設計時に工夫が必要です。

なお、にぎわい創出という観点から、ロビーやホワイエについては、来館者が多目的に利用できるスペースとして設計上工夫することが望ましい。

(4) その他

施設や設備については、長期間使用することから、メンテナンスが容易であることが必要です。

また、誰もが利用できるユニバーサルデザインや公共施設として防災機能を考慮した施設であることが望ましい。

2. 建物等の配置で配慮すること

(1) 建物配置と動線

新しい文化会館及び駐車場の配置にあたっては、人や車の安全に配慮した動線とすることが必要です。

(2) 既存施設との連携

新しい文化会館の設計・建設にあたっては、円滑な施設運営ができるよう、必要に応じてアミューズ豊田等の既存施設を利用するなど、施設間の連携の可能性やその在り方についても検討することが望ましい。

3. 文化振興センター機能について

新しい文化会館は、本委員会の第1次答申では「アミューズ豊田南側敷地」に移転することとしております。

現文化振興センターの、芸術作品等の展示施設や利用頻度が高い会議室等の機能は、現市民文化会館及び文化振興センターの跡地利用の中で検討することが望ましく、市民に長年親しまれた場所であることから、新たなにぎわいづくりにつながる利用を期待します。

おわりに

新しい文化会館の施設整備にあたっては、財政面において将来に過大な負担をかけないなど、総合的に判断し規模、機能や配置について決定することが望ましいと考えます。

資料

磐田市文化会館建設検討委員名簿

No	委員氏名	関係部門
1	青島 美子	教育関係者
2	浅羽 浩	学識経験者（会長）
3	小野 泰弘	市議会議員
4	佐藤 典子	利用者代表
5	鈴木 正善	団体代表
6	鈴木 洋子	団体代表
7	鳥居 勤	団体代表
8	永井 聡子	学識経験者
9	袴田 茂人	利用者代表
10	平野 邦孝	教育関係者
11	村上 勇夫	自治会代表（副会長）

磐田市文化会館建設検討委員協議経過

	期 日	委員会内容
1	平成 27 年 8 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 磐田市民文化会館の概要と現状 ・ 文化施設等のあり方委員会の提言について
2	平成 27 年 10 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい文化会館の基本理念 ・ 文化会館の役割、方向性、使命
3	平成 28 年 1 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本理念のまとめ ・ 建設候補地を選ぶための観点について
4	平成 28 年 2 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設候補地の視察 ・ 合併特例債について
5	平成 28 年 3 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 磐田市文化会館の基本理念の確認 ・ 建設候補地選考
6	平成 28 年 5 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 磐田市文化会館について ・ 建設候補地選定
7	平成 28 年 6 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 答申案の確認 ・ 規模・機能の検討事項について
8	平成 28 年 7 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 磐田市文化会館建設の基本的な考え方 ・ 磐田市文化会館の規模、機能（ホール系）
9	平成 28 年 8 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最終答申の骨子について ・ 磐田市文化会館の規模、機能（創造、交流系）
10	平成 28 年 10 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最終答申案の確認 ・ 磐田市文化会館の配置
11	平成 28 年 11 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最終答申案の確認 （規模・機能、建物配置について）
12	平成 29 年 1 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最終答申案の確認 ・ 文化振興センター機能について